

第6小委員会

音 楽

報 告 書

令和5年7月19日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 菅野勇次様

第12地区教科書採択調査委員会第6小委員会委員長 石丸揚一朗

先に諮問のあった令和6年度から使用する小学校用教科用図書について、音楽科の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月28日）

- (1) 配付された2者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月7日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月14日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された2者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編修趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や児童の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・児童の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

(1) 教育出版 「小学音楽のおくりもの」

- ・「主体的・対話的で深い学び」については、「日本と世界の音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、学習活動の後に、さらにいろいろなリズムや歌を楽しむなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第3・4学年）、「アンサンブルのみりょく」において、学習活動の後に、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第5・6年）が取り上げられている。
- ・「音楽づくり」においては、リズムを作って遊んだり、たいこの音やリズムを声で表現して音楽をつくる活動（1・2年）、和音に含まれる音を使って旋律を作ったり、リズムを組み合わせまとまりのある音楽を作ったり即興的な演奏を楽しむ活動（第5・6学年）などが取り上げられている。
- ・ICTを活用においては、二次元コードを掲載し、旋律の動きを捉えることができる動画を活用できるようにする（第3～6学年）など、使用上の便宜が図られている。
- ・折り込みを使ったワイドな紙面で、歌詞に忠実な写真を入れたり（第3～6学年）、即興的に表現する活動を取り入れたり（第1・2学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

(2) 教育芸術社 「小学生の音楽」

- ・「主体的・対話的で深い学び」については、「日本の音楽でつながろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箏曲を鑑賞した後に、日本の音階のよさを感じ取りながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第3・4学年）、「詩と音楽との関わりを味わおう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本歌曲の鑑賞の後に、曲想を感じ取って、思いが伝わるように歌うなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第5・6学年）などが取り上げられている。
- ・「音楽づくり」においては、言葉でリズムをつくったり、リズムの繰り返しを使ったりして、音楽をつくる活動（第1・2学年）、条件に合わせてながら試行錯誤する活動や段階的に進めながら複数人で一つの音楽をつくる活動（第5・6学年）などが取り上げられている。
- ・ICTを活用においては、二次元コードを掲載し、タブレット端末で学習するコンテンツ（ムーブの部屋）にアクセスし、参考となる音源や資料を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
- ・学習をサポートする写真やイラストを掲載したり（第3～6学年）、ナビゲーターのキャラクターを取り入れたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

4 その他

別紙様式1

観点	発行の冊・巻	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	音楽・103 音楽・203 音楽・303 音楽・403 音楽・503 音楽・603	小学音楽 おんがくのおくりもの1 小学音楽 音楽のおくりもの2 小学音楽 音楽のおくりもの3 小学音楽 音楽のおくりもの4 小学音楽 音楽のおくりもの5 小学音楽 音楽のおくりもの6
内容の構成・排列 分量等				<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かしたり、強さや速さを変えたりしながら歌う活動、もりあがりや様子を表す歌い方を工夫する活動（第1・2学年） ○ 器楽については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・音の重なりやパートの役割を考えたり、楽器のひびきを生かしたり、グループで工夫しながら取り組む活動（第3・4学年） ○ 音楽づくりについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・和音に含まれる音を使って旋律を作ったり繰り返しのリズムを組み合わせ、まとまりのある音楽を作ったり即興的な演奏を楽しむ活動（第5・6学年） ○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲の面白さを見つけたり、指揮者による演奏の違いを比べたりする活動（第5・6学年） ○ [共通事項] については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・強さや速さを感じ、体を動かして表現したり音の重なりやリズムを感じて演奏したりする活動（第1・2学年） ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「日本と世界の音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、おはやしづくりの後に、世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第3・4学年）
使用上の配慮等				<ul style="list-style-type: none"> ○ 折り込みを使ったワイドな紙面で、歌詞に忠実な写真を入れたり（第3～6学年）、即興的に表現する活動を取り入れたり（第1・2学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に「学習マップ」を掲載し、各題材で学習する内容を解説して見通しをもたせたり（全学年）、「学習の進め方」コーナーを設け、それぞれの学習の目的や留意点を簡潔に示したり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）、他教科と関連する教材として、「ショートタイムラーニング」を掲載したり（全学年）するとともに、一人一台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、旋律の動きを捉えることができる動画を活用できるようにする（第3～6学年）など、使用上の便宜が図られている。
他	その			<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道とかがわりのある内容を、第4～5学年で計6ページ、取り上げている。 ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

別紙様式1

観点	新訂の番・巻	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	27・教芸	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	音楽・104 音楽・204 音楽・304 音楽・404 音楽・504 音楽・604	小学校のおんがく 1 小学校の音楽 2 小学校の音楽 3 小学校の音楽 4 小学校の音楽 5 小学校の音楽 6
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・歌詞の内容から体の動かし方や声の強さを考える活動や、組み分けをして呼びかける感じを考えながら歌う活動（第1・2学年） ○ 器楽については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・音の高さに合わせた息の使い方を試したり、それぞれのパートの音をバランスよく聴こえるように考えたりする活動（第3・4学年） ○ 音楽づくりについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・条件に合わせながら試行錯誤する活動や段階的に進めながら複数人で一つの音楽を作り上げていく活動（第5・6学年） ○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・旋律を演奏する楽器や、世界の楽器の組み合わせによる響きを比較鑑賞する活動（第5・6学年） ○ 【共通事項】については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・拍が一緒に表記されている図を見て、拍を手で打ちながら音楽を聴いたり旋律を歌ったりする活動（第1・2学年） ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「日本の音楽でつながろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箏曲を鑑賞した後に、日本の音階のよさを感じ取りながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第3・4学年） 			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・旋律の反復を特徴とした歌唱教材の後に、リズムの繰り返しを使った創作活動、旋律の繰り返しに特徴のある鑑賞教材を取り扱うなど、系統的、発展的に学習できる工夫（第1・2学年） ○ 内容の分量については、次のようになっている。 ・第1学年 総ページ数82ページ、前回と増減なし ・第2学年 総ページ数82ページ、前回と増減なし ・第3学年 総ページ数86ページ、前回と増減なし ・第4学年 総ページ数86ページ、前回と増減なし ・第5学年 総ページ数86ページ、前回と増減なし ・第6学年 総ページ数86ページ、前回と増減なし 			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習をサポートする写真やイラストを掲載したり（第3～6学年）、ナビゲーターのキャラクターを取り入れたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に「学習マップ」を掲載し、一年間で学習する内容の見通しをもたせたり（全学年）、巻末に「振り返りページ」を掲載し、学習を振り返ることができるようにしたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり（全学年）、外国語活動と連携した平易な英語歌詞の歌を掲載したり（第3～6学年）するとともに、一人一台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、タブレット端末で学習するコンテンツ（ムーブの部屋）にアクセスし、参考となる音源や資料を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道とかわりのある内容を、第4～6学年で計10ページ、取り上げている。 ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			